

2023年7月9日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうぎょうかい}久宝教会

第66巻第14号(通算3346号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

^{かみさま}神様がすべての人^{ひと}と共^{とも}におられる
ことを証^{あか}ししていく教会 

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)



^{ぶらくかいほういの} ^{ひれいはい}
部落解放祈りの日礼拝
^{せいらいこうりんせつ} ^{だい} ^{しゅじつれいはい}
聖霊降臨節 第7主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

^{ぜん} ^{そう} ^{もくとう}
前 奏 黙 祷

^{まね} ^{ことば} ^{しへん}
招きの詞 詩編

^{へん} ^{せつ}
35編 1-3節

^{きんび} ^か ^{ばん} ^く ^{あさ}
賛美歌 21-210番「来る朝ごとに」(©著作権消滅)

^{せい} ^し ^{しょ} ^{ふくいんしょ} ^{しょう} ^{せつ}
聖 書 ルカによる福音書 7章 11-17節

^{いの}
お 祈 り

^{きんび} ^か ^{ばん} ^{まぶね}
賛美歌 21-280番「馬槽のなかに」(©JASRAC)

メッセージ「いっしょに汚れる」 ^{みづたに} ^{けん} ^{ぼくし}
水谷 憲 牧師

^{きんび} ^か ^{ばん} ^{しんじつ} ^{きよ} ^い ^{きょうだん} ^{さん} ^び ^{かいいんかい}
賛美歌 21-520番「真実に清く生きたい」(©教団讃美歌委員会)

^{しゅ} ^{いの} ^{ばん} ^{てん} ^{ちち} ^{きょうだん} ^{さん} ^び ^{かかいていいんかい}
主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

^{ささげもの}
献 げ 物 (*)

^は ^{けん} ^{ばん} ^{かみ} ^{めぐ} ^う ^{せつ}
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

^{しゅ} ^く ^{ふく} ^{みづたに} ^{けん} ^{ぼくし}
祝 福 水谷 憲 牧師

^{こう} ^{そう} ^{ばん} ^{きょうだん} ^{さん} ^び ^{かいいんかい}
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

^{ほう} ^こ ^{ページ} ^{さんしょう}
報 告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

^{うけつけ} ^{けんきん} ^{ばん} ^{ようい} ^{かた} ^{ささ}
受付に献金箱がございました。ご用意のある方のみ、お献げください。

まね ^{ことば} 招きの詞 詩編 35 編 1-3 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹ 主よ、私と争う者と争い

私と戦う者と戦ってください。

² ^{たて}盾と^{おおたて}大盾を手にし

私を助けるために立ち上がってください。

³ 槍と投げ槍を構えて

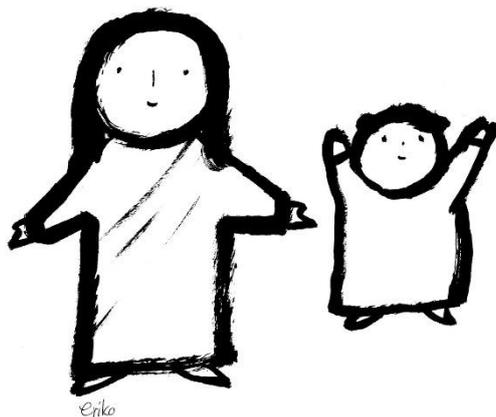
私に迫り来る者に立ち向かい

私の魂に言ってください

「あなたの救いは私だ」と。

聖書 ルカによる福音書 7章 11-17 節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹¹ それから間もなく、イエスはナインという町に行かれた。弟子たちや大勢の群衆も一緒であった。¹² イエスが町の門に近づかれると、ちょうど、ある母親の一人息子が死んで、^{かつ}担ぎ出される場所であった。母親はやもめであって、町の人が大勢そばに付き添っていた。¹³ 主はこの母親を見て、^{あわ}憐れに思い、「もう泣かなくともよい」と言われた。¹⁴ そして、^{ひつぎ}近寄って棺に触れると、担いでいた人たちは立ち止まった。イエスは、「若者よ、あなたに言う。起きなさい」と言われた。¹⁵ すると、その死人は起き上がってものを言い始めた。イエスは息子を母親にお渡しになった。¹⁶ 人々は皆恐れを抱き、「偉大な預言者が我々の間に現れた」と言い、また、「神はその民を^{かえり}顧みてくださった」と言って、神を^{あが}崇めた。¹⁷ イエスについてのこの話は、ユダヤ全土と周りの地方一帯に広まった。



《先週のメッセージより》7月2日 聖霊降臨節 第6主日礼拝メッセージ

「あなたと私をつなぐもの」より

牛田匡牧師

聖書 ルツ記 1章 1-22節

先日、国会で「性的指向及びジェンダー・アイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律案（LGBT理解増進法案）」が可決されました。「差別禁止法案」が「理解増進法」にすり替えられたということ自体が、根強い差別があることを示しています。また最新の日本のジェンダー・ギャップ指数は、146カ国中116位だった昨年よりも、さらに9ランクダウンの125位でした。これは「法整備がなされていないので、男女格差が埋まっていない」というよりも、むしろ「一人一人の中の差別意識が無くなっていない」そもそも「差別している自覚がない、自分の足が誰かの足を踏んでいることに気付いていない」ということを表しているのではないかと思います。

女性は男性の財産、所有物として扱われ、子どもを産むことが責務であり、婚姻関係のみが女性の生活や身分を保障するものと見なされていた文化的背景の中で、それらの道から外れ、女性だけで社会的に暮らして行くことが難しかった時代に、それぞれ夫や息子を亡くし、寡婦となった「姑」と「嫁」という立場の女性たちが、主体的に知恵と機転を用いて行動していく「ルツ記」の物語は、男性中心、家父長制主義の色濃い聖書の中でも珍しいものです。そして、そのルツの原動力となっていたものは、嫁という立場に基づく義務感や責任感ではなく、また小難しい思想や信条でもなく、もっと素朴に「相手のことを放っておけない」「大切にしたい」と思う気持ちだったのではないのでしょうか。人と人、私たち一人一人をつなぎ合わせ、本当に力の出し合える関係にさせるものは、やはり心の底から自然と湧き上がってくる素直な気持ちなのではないかと思います。

人工知能やロボットがますます進化、進出してくるこれからの時代、自分の本当の気持ちを我慢して、ひたすら忍耐して取り組むことの価値はますます下がっていくと思います。無理やり取り組んでいても成果は上がりませんし、それでは疲れ知らずの人工知能やロボットたちに適うはずがありません。むしろ人間がなすべきことは、機械にはない気持ちや、心の部分にこそ目を向けること以外にはありません。理屈や義務感は、自分を守るために排他的になり、差別的になります。そうではなく、「それが好き」「大切にしたい」という心からの気持ちにこそ、自由で柔軟な発想やひらめきが生まれ、行き詰った時でも、諦めてしまわずに何とか力を出すことができ、結果的に道を見つけることができる。私たちの力や予測を越える形で、神様の不思議な力も共に働かれるのではないかと思います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (7月2日)

礼拝出席 大人6名 献金 大人6,000円 中継動画再生数5回 感謝

◎次週 2023年7月9日(日) 部落解放祈りの日礼拝

招きの詞 詩編 38編 10節

聖書 ルカによる福音書 7章 36-50節

メッセージ「たくさん赦してもらったから」牛田匡牧師

賛美歌 21-306 (©P.D.)、21-439 (©JASRAC)、21-452 (©JASRAC)

◎お知らせ

- ・本日、14時～、服部墓地にて墓前礼拝を行う予定です。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いています。引き続き感染予防に留意しながら、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをYouTubeでご覧いただくことも可能です。

- ・7月20日(木)18時半～、大阪福島教会にて、日本基督教団部落解放センター主催の「部落解放祈りの日礼拝」が行われます。事前申込は不要です。大阪福島教会へは、JR福島駅下車、徒歩5分です。またZOOMを利用してオンライン参加も可能です。

ミーティングID: 89910322950 と、パスコード: 537767 を、直接ZOOMのアプリケーションやウェブサイトに、ご入力頂きご参加ください。

- ・7月17日(月・祝)の11時半～14時に、同じ河内地区にある小阪教会にて、数年ぶりに「本格石窯で焼くピザ作り体験交流会」が開催されます。入場は無料で、事前申込は不要です。小さいお子様連れでも、ご遠慮ならず、お出で下さい。小阪教会へのアクセスは、近鉄奈良線河内小阪駅下車、徒歩10分程

です。小阪教会のHPは右のQRコードより



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
7/23	岡嶋伝道師	おにぎり支援
7/30	岡嶋伝道師	誕生者祝福式
8/6	水谷牧師	平和聖日
8/13	牛田牧師	

部落解放祈りの日礼拝

2023年7月20日(木)18時30分
会場 大阪福島教会

553-0003 大阪市福島区福島7丁目19-16
大阪環状線・福島駅から徒歩5分
阪神電車・福島駅、JR東西線・新福島駅から徒歩8分

説教 森田喜之さん
大阪福島教会主任担任教師 愛輝幼稚園チャプレン




オンライン配信・ズームミーティング
ミーティングID: 899 1032 2950 パスコード: 537767

**部落差別がなくなりますように
差別をなくす取り組みを続けていけますように
共に祈りましょう**

主催 日本基督教団 部落解放センター
〒574-0073 大阪府大東市緑が丘2-16-14
TEL 072-875-8470 FAX 072-875-8471

コロナ禍の闇を乗り越えて今甦る!
本格石窯で焼くピザ作り体験交流会

2023年7月17日(月・休)
11:30～14:00
会場 小阪教会(入場無料)



主催・問い合わせ 日本基督教団 小阪教会
〒574-0073 大阪府大東市緑が丘2-16-14
TEL 072-875-8470 FAX 072-875-8471
E-mail: info@net.ne.jp kyoaka

小阪教会は世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と関係のない、モリス・カサノバのカルト集団とは一切関係ありません!

スペシャルゲスト
人形劇団「きらりっこ」

感染症・暑さ対策として

- ・手洗い消毒を徹底します。
- ・屋外にミスト噴霧します。
- ※ピザ生地の枚数に限りがあります。

